大斎節第４主日特祷

恵み深い父なる神よ、み子はすべての人のまことの命のパンとなるために、天からこの世に降られました。どうか命のパンによってわたしたちを養い、常に主がわたしたちのうちに生き、わたしたちが主のうちに生きられるようにしてください。父と聖霊とともに一体であって世々に生き支配しておられる主イエス・キリストによってお願いいたします。
アーメン

旧約聖書　サムエル記上 16 章 1-13 節

1 主はサムエルに言われた。「いつまであなたは、サウルのことを嘆くのか。わたしは、
イスラエルを治める王位から彼を退けた。角に油を満たして出かけなさい。あなたをベツ
レヘムのエッサイのもとに遣わそう。わたしはその息子たちの中に、王となるべき者を見
いだした。」 2 サムエルは言った。「どうしてわたしが行けましょうか。サウルが聞けば
わたしを殺すでしょう。」主は言われた。「若い雌牛を引いて行き、『主にいけにえをさ
さげるために来ました』と言い、 3 いけにえをささげるときになったら、エッサイを招き
なさい。なすべきことは、そのときわたしが告げる。あなたは、わたしがそれと告げる者
に油を注ぎなさい。」 4 サムエルは主が命じられたとおりにした。彼がベツレヘムに着く
と、町の長老は不安げに出迎えて、尋ねた。「おいでくださったのは、平和なことのため
でしょうか。」 5「平和なことです。主にいけにえをささげに来ました。身を清めて、い
けにえの会食に一緒に来てください。」
サムエルはエッサイとその息子たちに身を清めさせ、いけにえの会食に彼らを招いた。 6
彼らがやって来ると、サムエルはエリアブに目を留め、彼こそ主の前に油を注がれる者だ、
と思った。 7 しかし、主はサムエルに言われた。「容姿や背の高さに目を向けるな。わた
しは彼を退ける。人間が見るようには見ない。人は目に映ることを見るが、主は心によっ
て見る。」 8 エッサイはアビナダブを呼び、サムエルの前を通らせた。サムエルは言った。
「この者をも主はお選びにならない。」 9 エッサイは次に、シャンマを通らせた。サムエ
ルは言った。「この者をも主はお選びにならない。」 10 エッサイは七人の息子にサムエ
ルの前を通らせたが、サムエルは彼に言った。「主はこれらの者をお選びにならない。」
11 サムエルはエッサイに尋ねた。「あなたの息子はこれだけですか。」「末の子が残って
いますが、今、羊の番をしています」とエッサイが答えると、サムエルは言った。「人を
やって、彼を連れて来させてください。その子がここに来ないうちは、食卓には着きませ
ん。」 12 エッサイは人をやって、その子を連れて来させた。彼は血色が良く、目は美し
く、姿も立派であった。主は言われた。「立って彼に油を注ぎなさい。これがその人だ。」
13 サムエルは油の入った角を取り出し、兄弟たちの中で彼に油を注いだ。その日以来、主

の霊が激しくダビデに降るようになった。サムエルは立ってラマに帰った。

詩　編　第23篇

１　主はわたしの牧者 //　わたしは乏しいことがない
２　神はわたしを緑の牧場に伏させ //　憩いの水辺に伴われる
３　神はわたしの魂を生き返らせ //　み名のゆえにわたしを正しい道に導かれる
４　たとえ死の陰の谷を歩んでも, わたしは災いを恐れない //　あなたがわたしとともにおられ、あなたの鞭と杖はわたしを導く
５　あなたは敵の見ている前でわたしのために食卓を整え //　わたしの頭に油を注ぎ、わたしの杯を満たされる
６　神の恵みと慈しみは、生きている限り、わたしに伴い //　わたしは永遠に主の家に住む

使徒書　エフェソの信徒への手紙 5:《1-7》, 8-14 節

《 1 あなたがたは神に愛されている子供ですから、神に倣う者となりなさい。 2 キリ
ストがわたしたちを愛して、御自分を香りのよい供え物、つまり、いけにえとしてわたし
たちのために神に献げてくださったように、あなたがたも愛によって歩みなさい。 3 あな
たがたの間では、聖なる者にふさわしく、みだらなことやいろいろの汚れたこと、あるい
は貪欲なことを口にしてはなりません。 4 卑わいな言葉や愚かな話、下品な冗談もふさわ
しいものではありません。それよりも、感謝を表しなさい。 5 すべてみだらな者、汚れた
者、また貪欲な者、つまり、偶像礼拝者は、キリストと神との国を受け継ぐことはできま
せん。このことをよくわきまえなさい。

光の子として生きる

6 むなしい言葉に惑わされてはなりません。これらの行いのゆえに、神の怒りは不従順
な者たちに下るのです。 7 だから、彼らの仲間に引き入れられないようにしなさい。》
8 あなたがたは、以前には暗闇でしたが、今は主に結ばれて、光となっています。光の
子として歩みなさい。 9――光から、あらゆる善意と正義と真実とが生じるのです。――
10 何が主に喜ばれるかを吟味しなさい。 11 実を結ばない暗闇の業に加わらないで、むし
ろ、それを明るみに出しなさい。 12 彼らがひそかに行っているのは、口にするのも恥ず
かしいことなのです。 13 しかし、すべてのものは光にさらされて、明らかにされます。
14 明らかにされるものはみな、光となるのです。それで、こう言われています。

「眠りについている者、起きよ。
死者の中から立ち上がれ。
そうすれば、キリストはあなたを照らされる。」

福音書　ヨハネによる福音書 9 章 1-13,《14-27》, 28-38 節

1 さて、イエスは通りすがりに、生まれつき目の見えない人を見かけられた。 2 弟子たち
がイエスに尋ねた。「ラビ、この人が生まれつき目が見えないのは、だれが罪を犯したから
ですか。本人ですか。それとも、両親ですか。」 3 イエスはお答えになった。「本人が罪を
犯したからでも、両親が罪を犯したからでもない。神の業がこの人に現れるためである。 4
わたしたちは、わたしをお遣わしになった方の業を、まだ日のあるうちに行わねばならな
い。だれも働くことのできない夜が来る。 5 わたしは、世にいる間、世の光である。」 6
こう言ってから、イエスは地面に唾をし、唾で土をこねてその人の目にお塗りになった。 7
そして、「シロアム――『遣わされた者』という意味――の池に行って洗いなさい」と言わ
れた。そこで、彼は行って洗い、目が見えるようになって、帰って来た。 8 近所の人々や、
彼が物乞いをしていたのを前に見ていた人々が、「これは、座って物乞いをしていた人では
ないか」と言った。 9「その人だ」と言う者もいれば、「いや違う。似ているだけだ」と言
う者もいた。本人は、「わたしがそうなのです」と言った。 10 そこで人々が、「では、お
前の目はどのようにして開いたのか」と言うと、 11 彼は答えた。「イエスという方が、土
をこねてわたしの目に塗り、『シロアムに行って洗いなさい』と言われました。そこで、行
って洗ったら、見えるようになったのです。」 12 人々が「その人はどこにいるのか」と言
うと、彼は「知りません」と言った。

13 人々は、前に盲人であった人をファリサイ派の人々のところへ連れて行った。

《 14 イエスが土をこねてその目を開けられたのは、安息日のことであった。 15 そこ
で、ファリサイ派の人々も、どうして見えるようになったのかと尋ねた。彼は言った。「あ
の方が、わたしの目にこねた土を塗りました。そして、わたしが洗うと、見えるようになっ
たのです。」 16 ファリサイ派の人々の中には、「その人は、安息日を守らないから、神の
もとから来た者ではない」と言う者もいれば、「どうして罪のある人間が、こんなしるしを
行うことができるだろうか」と言う者もいた。こうして、彼らの間で意見が分かれた。 17
そこで、人々は盲人であった人に再び言った。「目を開けてくれたということだが、いった
い、お前はあの人をどう思うのか。」彼は「あの方は預言者です」と言った。

18 それでも、ユダヤ人たちはこの人について、盲人であったのに目が見えるようになっ
たということを信じなかった。ついに、目が見えるようになった人の両親を呼び出して、 19
尋ねた。「この者はあなたたちの息子で、生まれつき目が見えなかったと言うのか。それが、
どうして今は目が見えるのか。」 20 両親は答えて言った。「これがわたしどもの息子で、
生まれつき目が見えなかったことは知っています。 21 しかし、どうして今、目が見えるよ
うになったかは、分かりません。だれが目を開けてくれたのかも、わたしどもは分かりませ
ん。本人にお聞きください。もう大人ですから、自分のことは自分で話すでしょう。」 22
両親がこう言ったのは、ユダヤ人たちを恐れていたからである。ユダヤ人たちは既に、イエ

スをメシアであると公に言い表す者がいれば、会堂から追放すると決めていたのである。
23 両親が、「もう大人ですから、本人にお聞きください」と言ったのは、そのためである。
24 さて、ユダヤ人たちは、盲人であった人をもう一度呼び出して言った。「神の前で正直
に答えなさい。わたしたちは、あの者が罪ある人間だと知っているのだ。」 25 彼は答えた。
「あの方が罪人かどうか、わたしには分かりません。ただ一つ知っているのは、目の見えな
かったわたしが、今は見えるということです。」 26 すると、彼らは言った。「あの者はお
前にどんなことをしたのか。お前の目をどうやって開けたのか。」 27 彼は答えた。「もう
お話ししたのに、聞いてくださいませんでした。なぜまた、聞こうとなさるのですか。あな
たがたもあの方の弟子になりたいのですか。」》

28 そこで、彼らはののしって言った。「お前はあの者の弟子だが、我々はモーセの弟子
だ。 29 我々は、神がモーセに語られたことは知っているが、あの者がどこから来たのかは
知らない。」 30 彼は答えて言った。「あの方がどこから来られたか、あなたがたがご存じ
ないとは、実に不思議です。あの方は、わたしの目を開けてくださったのに。 31 神は罪人
の言うことはお聞きにならないと、わたしたちは承知しています。しかし、神をあがめ、そ
の御心を行う人の言うことは、お聞きになります。 32 生まれつき目が見えなかった者の目
を開けた人がいるということなど、これまで一度も聞いたことがありません。 33 あの方が
神のもとから来られたのでなければ、何もおできにならなかったはずです。」 34 彼らは、
「お前は全く罪の中に生まれたのに、我々に教えようというのか」と言い返し、彼を外に追
い出した。

35 イエスは彼が外に追い出されたことをお聞きになった。そして彼に出会うと、「あな
たは人の子を信じるか」と言われた。 36 彼は答えて言った。「主よ、その方はどんな人で
すか。その方を信じたいのですが。」 37 イエスは言われた。「あなたは、もうその人を見
ている。あなたと話しているのが、その人だ。」 38 彼が、「主よ、信じます」と言って、
ひざまずいた。

☆『聖書』の実際の終わり

（38 彼が、「主よ、信じます」と言って、ひざまずくと、 39 イエスは言われた。「わた
しがこの世に来たのは、裁くためである。こうして、見えない者は見えるようになり、見え
る者は見えないようになる。」）